

北条高等学校

PTAだより

令和4年7月20日
愛媛県立北条高等学校
印刷 (株)松栄印刷所



ご挨拶

PTA会長

難波 江美穂

新年度がスタートしたと思ったらもう夏休み。高校の三年間はあっという間だという話はよく耳にしますが、本当にそうだなあと実感しております。

未だ新型コロナウイルスが収束したとは言えない状況が続いておりますが、一学期は遠足等を始め、コロナ禍で中止になっていた行事が実施されました。PTA総会もその一つです。実に三年振りという事でしたが、授業参観や部活参観、生徒たちによるミニコンサートなども相まって、多くの保護者の皆様に参加していただきましたこと、大変嬉しく思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私事ではございますが、今まで観覧制限があった我が子の部活動の大会も、入部してから初めて観覧する事ができました。保護者の方々ともそこで初めてお会いし、部活動のこ

ともですが進路のことやその他色々な話をすることができ、有意義な時間を過ごせました。また、大会結果一つとっても、子どもから聞くのを実際に見るとでは同じ勝敗でも全く



Challenge

輝けHojjo

校長

市川 和夫

保護者の皆様には、日ごろから本校の教育活動推進に多大な御協力と温かい御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

御承知のとおり、令和二年当初より広がった新型コロナウイルス感染症は未だ収束することがなく、在校生は皆これまでの高校生活をコロナウイルスへの対策をしながら送ってい

別物だと感じ、本来なら当たり前に行えることがコロナ禍により如何に我慢を強いられてきたのか、改めて思い知らされました。

二期期からも、運動会や修学旅行に文化祭と様々な行事が予定されており、北条高校に入学してよかった、入学させてよかったと思っただけでなく、また、PTAの本来の目的である子どもたちの健全育成のため、教職員の皆様と連携をとりながら活動して参りたいと考えております。分からない事が多くご迷惑をおかけすることもありますが、PTA役員を引き受けて頂いた皆様、先生方、そして保護者の皆様、今後ともPTA活動に御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ることになります。PTA総会や授業公開についても、令和二年・三年と開催できませんでした。今年度はなんとかPTAの皆様に来校いただくことができ、過去に例を見ない参加者数であったと聞き及んでいます。当日来校された方には直接ご覧いただきましたように、生徒たちはこ

のような状況下でも熱心に授業に取り組んでいます。昨年からは一入台タブレット端末を活用した授業も増え、また黒板も電子黒板としてプロジェクタで投影するホワイトボードには入れ替わるなど、授業風景も様変わりしています。

さて、今年度本校の重点努力目標は「Iの力を伸ばし、Weの世界を広げよう」生徒の数だけ学びがある「です。これは総合学科の原点にかえり、「個別最適な学び」つまり「指導の個別化」と「学習の個性化」、生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるようにします、という方針で、「生徒の数だけ学びがあり、学びの数だけ夢があり、夢の数だけ未来がある」という言葉をモチーフとしました。また、令和四年度生徒会活動のテーマは「Challenge 輝けHojjo」です。これは「挑戦する」という以上に「より大きな努力を必要とする課題や目標に挑む」という意味です。

私たち北条高校の教職員は、生徒一人一人にとって、本校での生活が十分に満足できる内容であり、本校で学んだことを誇りに思い、巣立っていくことができるよう今後とも工夫・改善をいたしていく所存でございます。御家庭に於かれましては、引き続き御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。



北条高校PTA 北条高校PTA
北条高校PTA 北条高校PTA
北条高校PTA 北条高校PTA

三年次一組 難波江雛愛
 バスの移動ということもあり、行きも帰りも心が躍るくらい楽しかったです。動物園も久しぶりで、餌やりもできたので、充実した思い出を作ることができました。

三年次二組 平川 香乃
 私は動物園に行って、スタンプラリーを楽しみました。全部のスタンプを集めるために何周も回り、歩き疲れましたが、高校生活最後の遠足がスタンプと共に、思い出として、心に刻まれました。

三年次三組 赤木 花野
 高校生になって初めての遠足は、とても思い出に残るものとなりました。バスの中で友達と話して盛り上がったったり、アシカにえさをあげたりして楽しかったです。



二年次一組 重見 陽斗
 歴史の教科書に出てくるジョン万次郎について楽しく学ぶ場にもなり、盛り上がりました。特に印象に残ったのは主人公です。自分の思いを貫く心の強さは、とても素晴らしいものでした。

二年次二組 谷原弘奈子
 劇場でミュージカルを観るのは初めてだったので、臨場感がありとても印象に残りました。役者さんの高度な歌唱力と演技力は、終始感動の連続でした。

一年次一組 中川 龍輝
 高校生活が始まってすぐの時期で、不安もありましたが、何人かの出身中学の違う生徒が話しかけてくれ、楽しい遠足となりました。これからの高校生活で友達を増やしていきたいです。

一年次二組 野間日良楽
 高校生活初めての遠足は鹿島に行きました。悪天候で風も強く、少し寒かったけど、それを忘れるほど楽しかったです。新しい友人との絆も深まり、良い思い出となりました。

一年次三組 波頭 優衣
 行き慣れた鹿島も、新しい友達と散策をすると、とても新鮮で楽しかったです。色々な話をしながら遊んで、友達とさらに打ち解けることができ、大切な思い出になりました。



グループ結団式・リレーカーニバル

令和4年度 生徒会活動テーマ「Challenge ～輝けHojo～」

5月24日(火)、グループ結団式及びリレーカーニバルが行われました。今年度は3グループに分かれて競技が行われました。年間総合優勝を目指し、各グループが熱く競い合います。



- 「颯」(緑) グループ長 福田 士紋
- 「鳳」(紫) グループ長 立花 幸晟
- 「隼」(赤) グループ長 梶野 崇太

第76回愛媛県高等学校総合体育大会出場

バドミントン部

三年次 横田 音々

高校最後となる県総体。私は、全力で挑み、全力で楽しむことを目標としていました。試合では日々の努力を最大限に発揮し、楽しくプレーすることができました。コロナの影響を受けた三年間でしたが、切磋琢磨しながら頑張ってきた仲間や、優しく時には厳しくご指導してくださった顧問の先生、どんな時も支えてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。バドミントン部で過ごした時間は私の大切な宝物となりました。

弓道部

三年次 長野 萌李

私たちにあって今回の総体は、部員皆の力があつたからこそ出場できた最後の大きな大会でした。試合は二日間かけて行われました。初日は全員が緊張に負けず、二十二校中六位という結果を残すことができました。しかし、二日目は他校の成績やプレッシャーに勝てず、良い結果を残すことができませんでした。それでもこの二日間は、皆で練習を続けてきた私たちにあって、とても良い経験になりました。

バレーボール部(女)

三年次 丸田 幸奈

高校三年間で初めて県総体に出場することができました。初めての経験で、緊張とプレッシャーから、自分たちが思うようにプレーできるか不安でしたが、どんな試合になろうと私たちは笑顔で楽しむことにしま

した。対戦相手は、格上の松山南高。結果は一セットも取るできませんでした。試合の中で、自分たちの成長を感じながら楽しく、たくさんの刺激を受ける試合になりました。

アーチエリー部

二年次 加藤 政宗

県総体を振り返ると、会場の雰囲気や、倒され本来の力を出し切れなかったことに悔いが残ります。練習量が少なく、普段から試合を意識できていないと感じ、試合後から練習を変えました。これからの練習で自分を高めていけるよう日々頑張ります。

一年次 石坂 至琉

私は補助員として参加させていただきました。どの高校も本気のオーラが出ていたのが印象です。来年、選手として出場し、「絶対に勝つ」という気持ちを持って、これからの練習に励みたいです。

ラグビー部

三年次 池田宗一郎

今回の県総体の感想を一言で表すと「後悔」です。結果は二勝二敗でしたが、内容は良くありませんでした。大会初日の予選リーグでは、試合前に自分たちで設定した目標を達成することができず、またチームの士気も下がりました。最終日のリーグ戦ではチーム全体で初日の反省を盛り上げ、何と



か二勝することができました。三年次生の私にとって今回は最後の県総体でしたが、北条高校で単独出場できたことは良かったです。これからは、私にとって最後の公式戦となる花園予選に向けて、後悔をしないよう最高の準備を行いたいと思います。

レスリング部

三年次 上鶴瀬 陸

県総体を終えて、もう少し良い試合ができたのではないかと思います。自分自身、試合内容はあまり良いとはいえない試合でした。試合前に怪我をしていたので、悪化させず試合ができるか、また練習を充分にできていなかったで動けるかなどの心配がありました。でも、試合中は心配よりも「勝つてやる」という気持ちが強かったのか、無心でしていました。

インターハイでは、今まで練習してきたことを生かし、一つでも多く

第17回全国高等学校なぎなた選抜大会 全国大会 団体競技 優勝

の勝利できるように頑張ります。そして、良い試合だったと思えるような大会にしたいです。

なぎなた部

三年次 安永 心優

選抜大会が終わってから、私たちの目標はインターハイでもう一度日本一になることでした。団体戦では、全員で気合いを入れて試合に挑みました。対戦相手と挨拶後、思わぬアクシデントが起こりました。先鋒の私は、不安をおさえ試合をしましたが勝つべき自分が負けてしまいました。団体戦は終わってないのに、何度も泣きそうになる自分の気持ちを押さえることができません。インターハイの目標は夢のまま終わってしまいました。まだ気持ちの整理はできていませんが、十月に開催される団体に向け気持ちを切り替え、今度こそ日本一を目指して頑張りたいです。

選抜大会の優勝は、一戦一戦集中し戦い、勝ち取ることができました。多くの大会の中で一番うれしかったです。日頃からご指導して下さっている先生や先輩、応援して下さいありがとうございます。

三年次 安永 心優

前日の個人戦で悔しい負け方をしたので、団体では絶対負けたくない、と思いきや、試合経験の少ない私は、県外の選手との対戦は緊張しましたが、私の後に控えている仲間なら絶対勝つてくれると思っていました。優勝を決めた後は勝

手に時間が流れていく感じでした。

三年次 横山 聖七

大会一週間前に、急遽メンバー変更となり出場することになりました。大会では、先鋒、中堅と勝つてきてくれたので私は、気負うことなく試合をすることができました。試合時間はあっという間に過ぎ、気がついたら決勝の舞台で戦っていました。優勝を決めても実感がありませんでした。多くの方々から祝福していただき、実感することができました。この感謝の気持ちを忘れず次のステージでも頑張りたいです。